

1月の行事

- 10日 委員会 ミサ後
- 17日 壮年会 "
- 婦人会 "
- 24日 サロン "
- 31日 信徒総会 "



第177回

カトリック中和田教会  
 広報委員会発行  
 泉区 中田町 2701  
 TEL 045-803-6141  
 1993年1月3日



おとぎばなし

山 崎 正 俊

その国の王様は、重い病気でした。お医者さんは、どうしてよいか、わかりませんでした。王様は苦しいので、うめき声をあげつづけ、かかりつけのお医者さんは、困っているだけでした。

その国では、王様も国民のために、いろいろと心をおつかいになり、国民も、その王様が大好きでした。それほどの王様は、これまで、どこにもいたことがないと思うほどでした。王様も、こんなに良い人がいっぱいいる国でよかった。この国民のためには、自分はどうなってもかまわないとさえ思っていました。

おそば仕えの家来たちは、国民にあまり心配をかけすぎないために、はやく何とかしなければなりません。小さな国のことですが、すぐさま国中のお医者さんが、つぎ次ぎと呼ばれてきて、最後にやって来たとしおいた大先生が、ていねいにしんさつして、「しあわせいっぱいの方が着ているシャツを、ゆずっていただいて、それを着るならば、忘れたように、なおります」と、御自分の先生から聞いた話をしていました。

すぐさま、おそば仕えの家来たちは、その「しあわせいっぱいの人」をさがしに、手分けして出かけました。ところが、どうしたことでしょう、こんなに幸せいっぱいの人にも、心からしあわせだと思っている人には、だれも、出会えませんでした。夕方になったので、あとは明日のことにして、疲れ切って、お城に帰って来ました。

お城に入るための橋を渡っていると、どこからか、とても嬉しそうに、しあわせいっぱいの歌声が聞こえてきました。歌っているのは、その橋の下に住みついて、仕事の無いときは、乞食をしている人で、久しぶりに手にはいった魚を、焼いているところでした。こんなに近いところに、しあわせいっぱいの人が出たので、おそば仕えの家来たちはおおよろこびです。すぐさま、事のわけをくわしく話しました。そして、着ているシャツをゆずってくださいと、たのみました。

だい好きな王様からの、はじめてのたのみでしたのに、その人は泣くことしかできません。上衣のしたには、なにも着ていなかったのです。家来たちがいなくなると、とり残された人は、くすぶりつづける魚を、見つめていました。

2年間を顧みて

位田義男

“なかわだ”で壮年会長として御挨拶申し上げてから、早いものでもう2年になります。

振り返って見ますと、余りお役に立つことが出来ませんでした。今となれば皆様のご協力のもとで楽しい思い出となっております。

まず2年間に3回（鎌倉、高尾山、鎌倉）のハイキングは多くの婦人会、子供達も参加していただき、今まで余りお話する機会が無かった方々とも話し合えるチャンスが出来ました。リーダーの山田さんのご苦労と人柄が皆様に大変親しまれました。

今年が3回目となるピンポン大会も教会行事となり、宮崎・井上両氏の協力を得ながら岩淵さんが中心となって努力していただき、老いも若きも、上手も下手も関係なく、皆さんが楽しく参加していただき、親しく話せる友人が出来ました。

最後に“中和田サロン”も第2、4日曜日ミサ後に定着して参りました。婦人会の皆様、要理学校を終えた子供達、また青年会の諸君が、それぞれ輪になって話し合う光景を見る時、感謝の気持ち一杯になります。この背景には提案者である石崎さんの献身的努力と壮年会の当番の方々の協力で定着することになったと思います。

この様な教会内でのコミュニケーションの場を利用して親睦の輪が広まり、信者間の交流も深まり、同じ信仰を求めている人々が、相互の愛と信頼関係を育み、喜びや悲しみを心から分かち合えることが出来ますことを希望して止みません。

委員会だより

- 12月6日に8名の出席のもとに行われました。
- 1. 財務報告：11月度決算報告（橋委員）。
- 2. バザーの成果：収益金は478、163円。  
 ●使い道①泉社会福祉協議会に10,000円寄付、  
 ②広町町内会に10,000円寄付、  
 ③残りの使い道は、アイデア募集。
- 3. 教会委員：  
 ●財務担当委員の交代：藤田さんに教会委員に加わって頂き、1年間のオーバーラップ期間を経て橋委員と交代する。  
 ●女性に教会委員として参画頂く件、神父様にご了解を頂いた。  
 当面、要理担当と典礼担当各1名。  
 壮年会長、婦人会長に人選をお願いした。
- 4. 『ご意見箱』（または『ご要望箱』）の設置：  
 ●清水委員長より、来年春を目途に設置したい旨提案あり。  
 ⇒ 運用法など慎重に検討していく（継続審議）。
- 5. クリスマスのお祝：ごミサ後にパーティ実施。  
 ●既に、パーティの為に10万円予算化してある。（昨年度実績は92,220円）  
 ●豚汁提供は、婦人会に検討をお願いします。  
 ●ケーキは例年通り壮年会が提供。  
 お寿司等は花坂さんにアレンジをお願いします。
- 6. 来年度教会行事予定：  
 別途『なかわだ会報』に掲載する。
- 7. 消防訓練：  
 ●自衛消防隊を設置する。  
 ●訓練は、12月20日（日）のミサ後、清水委員長が説明を行ってから実施する。
- 8. 『教会サロン』運営：  
 ●壮年会主催の『教会サロン』（第2、第4日曜日ミサ後）も、定着してきた。  
 ●壮年会の内部に、今後は壮年会の行事としてではなく、教会の行事として運営したらどうかとの意見がある。⇒ 壮年会、婦人会にはかって、検討していく。
- 9. 会計監査：1992年度会計の監査を甲斐さんをお願いします。

以上



壮年会だより (12月20日) (13名出席)

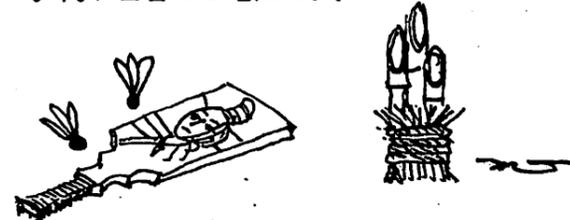
- 1. 委員会報告
- 2. 新役員が下記の通り決定した。  
 ・会長：宮崎（佐）  
 ・副会長：鈴木  
 ・会計：上野  
 ・書記：滝川
- 3. クリスマス御ミサ後のパーティーで、例年通り子供達にケーキを配ることとした。（40個）
- 4. サロンの運営につき討議し、下記結論を得た。

- ・今後も継続する。
- ・下記方法で事前、事後の作業を軽減し、各回の担当者数を減らす。  
 -バザー収益金で、給湯機等の設備を購入。  
 また紙コップ利用で後始末を簡単化する。  
 -コーヒー、紅茶等のポットを置き、セルフサービススペースの運営とする。
- ・経費は委員会で作算化して頂く。
- ・当面は従来通り月2回とする。

婦人会だより

(12月20日 33名出席)

- 1) 平成5年度の新役員の役割が決まりました。  
 会長：ピアエウジェニア 石川雅子  
 副会長：マリア 楠田恵美子  
 書記：マリアマグダレナ 上野明子  
 会計：マリア 小野和江  
 マリア 宮崎ヒトミ  
 典礼：モニカ 佐々木邦子  
 テレジア 竹田恭子  
 第5地区福音宣教委員：  
 マリアフランシスカ 清尾史子
- 2) 12月19日、大掃除御協力有り難うございました。
- 3) 例年通り、下記の所へ寄付致しました。  
 ・カニタ村 ・いのちの電話 ・旅路の里  
 ・シャロームの家 ・奄美の園 ・カリタスジャパン
- 4) サロン及びバザー収益金使途についての皆様の御意見は、壮年会、委員会に御報告致します。
- 5) 神父様にクリスマスプレゼントとして図書券を差し上げました。
- 6) 1月のお掃除は、平成4年度のお掃除当番表で行います。但し1月第2週からの開始となります。（1週間づつずれる）
- 7) 1月17日ミサ後、総会と新年会を行います。新年会に御出席の方は、申込み表に御記入下さい。尚お当番はC地区です。



お知らせ

- ・信徒総会  
 1月31日（日）9:00のミサ後
- ・ご結婚  
 1月2日（土）中和田教会  
 トマ 石井 彰宏  
 グロリア 洋子（旧姓 真下）



# なかわだ 会報

第178回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年2月7日

2月の行事

7日	委員会	ミサ後
14日	サロン	"
21日	壮年会	"
	婦人会	"
28日	サロン	"

## 主への想い

山崎正俊

他の人の苦しみ悲しみが 私の心の痛みにうつしとれるような信仰をこそ大切にさせてください。「われらが人に赦す如くわれらの罪を赦し給え」ではなく「われらの罪が赦されし如くわれらにも人を赦さしめ給え」でもなく。

—イエズス様のたいへんな御苦勞によって「救いの道」が開かれており、イエズス様から離れようとはせず、信頼をよせておれば、人の心に重く深い傷を負わせながらなんにもわからないままの善業をおこなっているという思い込みの乱暴さにやっとながら気がついたとき—もう そのまえにあわれみを受け赦されているのだと—

どんなにあがいてみたってそのとき犯した事実は消えはしないのに思い上がりもいところ。人を私が赦すとか赦さぬとかはとんでもない言いくさです。まして こんな私を「暖かく受け入れろ」などと義理にでも口に出せるものですか。成りゆきのままにとお願いできるだけでも分には過ぎているはず。

自分に都合が好いと おお喜び、すこしでも嫌なことに会おうと恨み呪いこえのはりあげ、ききわけもなさすぎました。

それでも途方にくれてたどりつけるのはやっぱり 主への甘え。その御跡をみつめ つぐないの生命をとうしての一致を想うすべては此処からの発出と再生

今月は年間予定表等の都合で、レイアウトを変更しました。その為、壮年会員投稿文(甲斐さんの「マレーシャのこと」)は次頁に載っています。是非、お読みください。



### 委員会だより (1月10日 17名出席)

1. 自衛消防隊組織表：清水委員長より案提示 ⇒ 了承。
2. 信徒総会開催公示文書：清水委員長案通りで 決定(御聖堂で開催)
3. 信徒総会の議事進行/運営に関する審議：
  - 議事進行：原案に一部変更を加えて決定。
  - 一粒会決算：小谷さんより説明(資料配布) ⇒ 了承。
  - 92年度決算並びに93年度予算案(資料配布)：橋委員より説明。
    - ・決算 ⇒ 了承。
    - ・予算 ⇒ 堅信式60,000円 → 100,000円に増額。『中和田サロン』に30,000円を新規予算化。
  - バザー収益金：使い道に関する『考え方』を総会で清水委員長より説明する。
  - 年間行事予定：資料配布して説明 ⇒ 了承。
  - 新委員：・藤田さん(壮) (財務担当)
  - ・小山さん(婦) (典礼担当)
 のお二人を正式に推薦し、総会に諮る。以上。

### 壮年会だより (1月17日) (出席者21)

1. 前会長位田さんの挨拶  
いろいろの取組で教会内のコミュニケーションがますますとなってきたが、それを充実発展させるとともに、教会の外の未信者にまで広げていってほしい等の内容でした。
2. 92年度会計報告
3. " 事業報告
4. 93年度壮年会連絡網
5. " " 年間行事計画  
サロン責任者を甲斐さん位田さんをお願いしました。
6. 新会長宮崎さんより、壮年会の若返りのためにより方法を出し合っていきたいとの提案。
7. 楽しい新年会  
花坂さんの手塩のカモ鍋や茶碗蒸などの高級料理をほうばりながらの新年に相応しい懇親会になりました。全員が新年の抱負を述べ合い、楽しく語り合いました。その中から地域へ輪を広げる意味も含めて、「もちつき大会をしよう」ということになりました。青年会から小山君と楠田君が飛入りで参加してくれて若さで盛り上げてくれました。位田さんと宮崎さんの奥様には台所のたいへんなお世話をしていただきまして、ありがとうございました。



### 婦人会だより

1月17日総会と新年会が出席者49名で行われました。  
11時開会宣言……仲村(旧)会長  
・山崎神父様のお話(婦人会は、皆楽しくやっていく集りだから、人に文句を言って改めさせるのをやめ、目立たない所で補って上げよう、待つこと、我慢することに務め、ミサの時、早めに入るよう子供にも教えて下さい。)を伺いました。  
・年間行事報告 会計報告が了承されました。  
・特別会計の中のお茶、お煎餅の取り扱いを、今年度は(隔月)にすることになり、2月の定例会の時から始めます。  
・旧役員の方々の1年間の感謝のご挨拶の後、新年会へと引継がれました。  
・石川新会長のご挨拶と新役員の紹介があり、会長より連絡網の変更、楠田副会長より、掃除当番の各班長決定の報告などの後、お食事、余興となりました。(余興は開会前から熱心な練習風景が見られました。)  
盛りだくさんに、和やかな雰囲気の中、13時開会となりました。  
・次回 例会は2月21日、お当番はD地区です。

月日	予 定	月日	予 定	月日	予 定
1/ 1	元旦ミサ	5/ 2	堅信式 召命祈願日	9/ 5	委員会 国際協力の日
3			委員会	12	敬老の日
10	委員会	9		15	
17	壮・婦 新年会	16	(5/15~17 日本カトリック会)	19	
24			主の昇天	26	(9/27~30 山崎神父様 御会 於 寂イェス会)
31	信徒総会 カトリック祝日の日	23	聖霊降臨の主日		
		30			
2/ 7	委員会	6/ 6	委員会	10/ 3	委員会、お祈りの日
14		13		10	
21		20		17	
24	灰の水曜日 (以降毎金曜4:00PM 十字架道行)	27	聖ペテロ聖パウロの献金 山崎神父様 黙祷日	24	世界宣教の日
28	四旬節第一主日 聖歌の集い (於 山手教会)	29		31	
		7/ 4	委員会	11/ 7	委員会、死者の月
		11		14	
		18		15	七五三
		25		21	(消防訓練日)
		28		28	
3/ 7	委員会	8/ 1	(要理学校合宿)	12/ 5	委員会 宣教師育成の日
14		8			
21	(赦しの秘跡)	15	聖母の被昇天	12	(赦しの秘跡)
28	大掃除	22		13	第三土曜、大掃除
		29		19	
4/ 4	委員会、枝の主日			25	主の降誕
11	復活の主日			26	
18					
25					

1. 信徒会主催
  - ・卓球大会 月 日
  - ・講演会 月 日

2. 主任司祭ご出張時の留守当番は掲示板に表示。

### お知らせ

- ・灰の水曜日  
2月24日(水) 灰の式 19:00  
(大斎、小斎)
- ・四旬節  
26日(金) ~ 毎金十字架の道行  
16:00~
- ・結婚  
1月22日(山手教会)  
上野 喜正  
アグネス山田 智恵

# マレーシアのこと

甲斐至信

堅い話で恐縮ですが、少し前に日本生産性本部が主催しました、シンガポール、マレーシア企業視察団に参加する機会がありまして、5日間程の短いスケジュールでしたが、両国の現地企業と日本からの進出企業数社を、訪問しましてあちらの色々な事情を参加各社の人たち16人のメンバーで見てきました。

視察団の目的は、日本からの企業進出、技術移転、輸出市場開拓等の参考とするためのものですが、そのときにメンバーでまとめた報告書のなかから、マレーシアのことについて、ガイドブックに載っている程度にまとめましたので、お読みください。

マレーシアへは最近日本の宮沢総理が訪問しまして、そのときの様子がTVで放映されていましたが、我々一行は日程の関係から、訪問地はクアラルンプールだけでしたが、街はさまざまな人種の人たちと、車の騒音にあふれていたのが、印象に残っています。

ペナン・クアラルンプール・ジョホールバル という地名は年配の方々には、第二次世界大戦の初頭を思い出されることでしょうか、真珠湾と同時に開戦の地となつたのが、マレー半島であったわけですが、当時もこの地域は日本にとって、関心の高い所であったのですが、現在もペナン〜ジョホールバルは、工業ベルト地帯といわれておりまして、このマレー半島西海岸地域には、日本から企業が多数進出しています。鉄鋼、電機、化学、金属、繊維、紙、薬品、あらゆる業種の日本を代表する企業など、約200社が現地で活動をしています。

日本の成功が東アジア諸国に自信を与えた、日本がいなければ欧米の、世界支配は永久に続いたはずだと、昨年マハティール首相が発言し問題になりましたが、先の企業進出をはじめ貿易の拡大など、日本経済の影響がますます大きくなってきています。日本のアジア向け輸出は、91年からアメリカへの輸出を上回ってきてまして、日本は徐々にアメリカからアジアに向きを代えて来ている感じがします。

宗教問題では最近多くの国で、人種、宗教問題を根底に、対立や争いが発生していますか、マレーシアの人種、宗教は大体次のようになっていると聞いていますが、他の国で起こっているような争いはありません。

人口の60%を占める	マレー人	イスラム教
30%	中国人	仏教
10%	インド人	ヒンズー教

マレーシアでは信仰の自由は保証されていますが、イスラム教だけは特別の地位が与えられ、マレーシア連邦の宗教として憲法に定められています。

人口が多く宗教的にも影響の大きい、マレー人の信奉するイスラム教は、戒律が厳しく他民族との結婚を認めず交流も少ないと言われており、宗教を超えた交流、家族同士の付き合いも少ないようですが、会社間との取引とか、社内での同僚との仕事関係などは、非常にうまく協力し合っているとのことで、宗教の異なる民族が同居し、生活していくための生活の知恵か、東洋的な割りきり方かも知れません。お互い一線を画しながらの平和なのでしょうか。

商売ではマレー人に比較して中国人は商才に巧み、人口の多いマレー人より、中国人の持っている資産が、はるかに大きく全体としても、人種間に財力の格差がいちぢるしく、不満が大きいので政府は、国民が公平に資産の保有が出来るように改革が進められていますが、反面、中国人の不満もあるようです。

人口と人種問題では、日本など外国の企業が、マレーシアに会社を新たに設立するときは、採用する人達の人種構成をマレー人40-50% 中国人30-40% インド人10% と認可条件を付けられるなど、人種構成を反映した雇用の達成を義務づけられます。

マレーシアはアセアン諸国のなかでも、フィリピンに次いで英語の通じる国であり、進出企業もワーカーに英語で仕事を教えられる便利さがあります。しかし政府は民族統一を目的に、言語をマレー語に統一しようとしており、小学校の教育からマレー語の教育を強化していきまして、このままでは将来若い人の間に、英語が通じにくくなるかと心配されています。

取りあえず今回はここまでで、終わらせていただきますが、日本から5S運動(整理、整頓、清掃、清潔、躰)の指導を受け、経営に取り入れている現地企業、同じく提案制度を採用している企業などがありましたが、日本の管理方式などを、経営に役立つものは、日本から一生懸命吸収活用しようとしています。これらのことは機会がありましたら、また報告します。

以上

参考文献 「もつと知りたいマレーシア」 弘文堂

3月の行事

7日	許しの秘跡	
14日	サロン	ミサ後
21日	壮年会	〃
	婦人会	〃
28日	サロン	〃



# なかわだ 会報

## 第179回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年3月7日

## マルコム・X

山崎正俊

その父は 白人に虐殺された  
母は トラックの追突事故で急死  
警官たちは 嘲笑っていた  
けれども 少年は  
そのときに何を考えていたのか —  
ひたすら白人にならおうと苦心して  
体に悪いと噂されている医薬品で  
その髪の毛をまっすぐにしよう

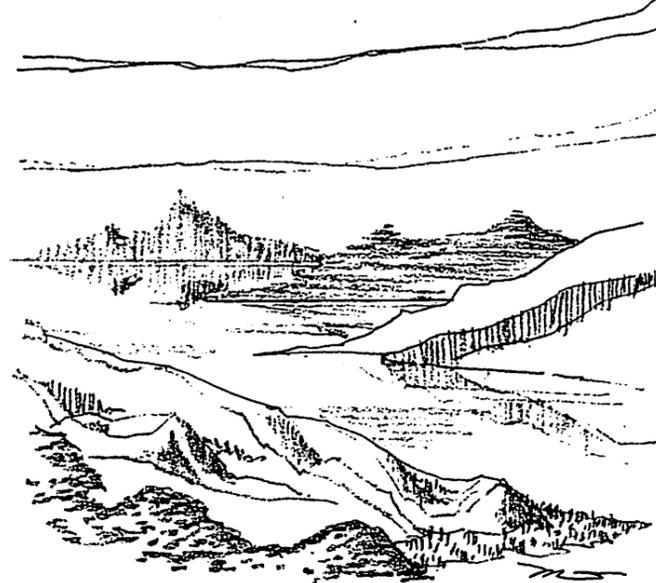
「目には目を 歯には歯を」  
勝手な解釈に引きまわされ  
暴力には暴力をもってする対抗  
その先頭にも立つようになると、  
白人に付けられていた名を捨て  
本名がわからぬままに  
X (エックス) と自称する。

信じて従っていた大指導者が  
とんでもない偽善者だと聞かされると  
その豪邸にのりこみ  
その実状をたしかめ  
ますます尖鋭化してゆく

その自宅は爆弾が投げ込まれ  
火で焼き払われてしまう。  
白人からも黒人からも生命がねらわれ  
後がない 凶悪かぎりない暴力集団の長 —  
黒人が人間あつかいされていないことに  
抵抗を極めての逮捕入獄 それを見かねて  
姉は メッカ巡礼の旅立ちをすすめる。

聖なる「マホメットの都」での感激  
ついでに訪うたヨーロッパの国々  
アフリカの各地でも黒人の惨状を見る —  
それにもまして仲間うちの対立と騒乱  
あてのない殺し合い 憎み合い むしり合い  
さらに 相互不信の足の引っ張り合い。

帰国すると 真の解放の道を求めて  
マーチン・ルーサー・キング牧師の許  
かっての対立者の後に行く覚悟のマルコム  
その道は 無に帰趣する銃声の彼方に続く



### 委員会だより

(2月7日(日) 13名出席)

1. 財務報告：1月度決算報告を了承。
2. 新しい司祭誕生：溝口 昭 氏、  
3/20 1:00PM より山手教会にて叙階式施行。  
中和田教会からは清水委員長が代表として  
出席する。
3. 病気などで足の遠のいている方への  
『なかわだ会報』郵送の件：  
●郵送は従来通り続ける。  
●足の遠のいている方が近所におられる場合  
には、(郵送と重複しても構わないので)  
極力届けてあげることを呼び掛ける。
4. 『なかわだ会報』発行ワークについて：  
●石井委員より、編集ノワープロなどのついで、  
岩淵さんにいろいろご援助頂けること  
になった旨紹介あり。
5. 信徒会のお金(バザー収益金)の件：  
冒頭、清水委員長より、『特別献金>繰越金』  
となっている教会財政事情に鑑み、慎重な  
使い方をしたい旨提案あり、これを引き金に  
いろいろ議論。  
結論として、  
●可及的速かに必要とされる『掃除機』『洗  
濯機』については、一般会計より支出する。  
(花坂委員に調査をお願い。)  
●信徒会のお金については、壮年会、婦人会  
の例会に諮り、案を出していく。

以上

### 壮年会たより

(2月21日 17名出席)

- 1) 委員会報告
- 2) 信徒会積立金活用に関する調査の件  
アンケートにより会員各位の意見を吸い上げ  
委員会に具申していく事になった。
- 3) サロンについて  
●サブ担当者・・・第2週：上野 花坂  
第4週：鈴木 石井  
その他都合のつく人は随時アシストする  
●PRの一環として開催日には玄関に看板掲示
- 4) 3月の庭清掃の件  
3/21の例会後に垣根整備主体の庭清掃を実施  
計画は「庭を綺麗にする会」の滝川氏に一任
- 5) バザーの件  
近隣の地域社会とのコミュニケーションを図る  
意味からも継続すべきとの意見が大半を占めた。  
但し、バザーの開催目的の明確化が必要である  
と共に信者の過負担にならぬような内容に  
すべき云々・・・などの意見が出た。
- 6) 「第五地区宣教委員会」関連の報告  
●1/31 於戸塚教会・・・石崎委員参加  
●聖書研究会等、一般者参加の機会設置働きかけ  
●今後壮年会例会の席でも宣教について論議する
- 7) 壮年会メンバーの洗い直し  
転入者への「中和田教会15年史」贈呈を検討

### 婦人会だより

(2月21日、32名出席)

- 1) 『会報中和田』への寄稿依頼がありました。  
1200字(原稿用紙3枚)で課題は自由です  
執筆者は今のところ未定です。
- 2) 委員会からの検討依頼  
議題：信徒会の積立金の使途について  
1 御聖堂の扇風機の設置  
2 雨漏りなどの修繕  
3 バザーの為にテント購入  
などの要望がありました。
- 3) 福音宣教委の清尾さんから、1月31日、  
戸塚教会で行われた第5地区の会合の内容につ  
いて報告がありました。
- 4) 委員会報告(宮崎、小野さん)
- 5) お茶、煎餅の申込みは、今回は2月21日  
をもって締切りました。次回は4月の例会時です
- 6) 次回例会は3月21日、お茶当番はA地区  
です。
- 7) オムツ縫いは3月6日(土)10時～正午、  
御協力をお願い致します。

### お知らせ

- 司祭叙階式  
3月20日 山手教会 午後1時  
アウグスチノ 溝口 昭
- 堅信 (5月2日)  
現在小学校6年以上の方でまだ受けていない方  
はお知らせください。洗礼証明書も願います。  
3月21日より準備の要理。(日曜日8時15  
分頃より)
- 結婚  
2月14日(中和田教会)  
大井 一幸  
マリア大原 恵美子



### 編集後記

梅が満開、三寒四暖、桜の開化も真近、春はも  
うそこまで来ています。日本は今不況とはいえ失  
業率2%台を維持し、様々なスポーツの話題が紙  
面を賑わしています。  
一方、アフリカ、ヨーロッパは経済情勢の不況  
に加え、人種や、宗教の対立による抗争が連日報  
道されています。  
これに関連して1年半ほど前にテレビで「北ア  
イルランド 宗派を越えて」というNHKの特集  
番組を思い出しました。それと同じ時期に「信徒  
の召命と使命」(カトリック中央協議会)を読ん  
でいたことも……テレビではプロテスタントとカ  
トリックの若いカップルが結婚したため夫々が暴  
力による迫害を受けるという現状、また、その時  
期よんでいた本はキリスト教のおしえそのままの  
内容でした。

もしアイルランドに生れ育っていたらテレビに  
映った人々と同じ考え、行動をしたらどう…か？  
人間は、いつ、どこで、和解(ゆるし)しあ  
うのか、出来るのか、それも人間の努力だけで……  
歴史の繰返しを見ていると、何か空しい気がし  
ますが、大切な事は理解しあう為の不断の努力と  
次世代への教育(啓蒙)ではないでしょうか。

4月の行事			<b>なかわだ 会報</b> 第180回 カトリック中和田教会 広報委員会発行 泉区 中田町 2701 TEL 045-803-6141 1993年4月4日
4日	委員会 ミサ後		
11日	復活祭		
18日	壮年会 ミサ後 婦人会 "		
25日	サロン "		

## なにごとですか

山崎 正俊

◎ 文部省は、それほどに墮落しています。家永教授の正面切った顔は、いまも私の胸の奥に焼きついている。テレビをつけたら、とたんに飛び込んできた映像は、鮮烈だった。その老いの一徹とも見える断定は、万感をこめたものだけに。

いまのところ、やはり、法廷で争うよりないだけに、「ねがわくは」と祈るよりないが、今日がその判決の日だったのか。

新聞には見出せない。朝刊しかない神奈川新聞だけにはあった。昨日の判決だから、夕刊だけの問題なのか。私の目には入って来ない。

◎ あとでゆっくり読もうとしたのが、間違いのもと。その記事だけが見付からない。何日のことであったのか、ずいぶん前のことであったような気がするし、すぐ前の日のことであったようにも思える。政府の高官や巨大資本家たち、その関連有力者たちのことが大きく紙面に躍っていて、あの家永教授の教科書裁判のことは、日本の歴史教育に重大な問題であるのに、子供たちは判断力がないから、いたずらに混乱を与えるようなことは教えられないと、実際には、国家の犯罪をひかえ目にしか記したくない教科書で、文部省は何を教えさせようとするつもりなのか。教科書検定では認められなくても、一般書としては出版できますよとウソブク。単純な高校生たち(?)は、学校で教えられていることと、他の雑誌のなかに記されていることと、自分の判断で読みとり、正解を得なければならない冒険にのり出すことになる。

◎ これは、文部省のダラクというようなことでは片づけられないことだ。誰が文部大臣をきめるのか。ダラクしているのは、日本の進路を選んでいる日本の最高権力者を陰で動かす「何者か」のお都合におまかせしている現時点での「権力機構のマカ不思議さ」ではないか。新判決には、それとなく新しいものが加えられているのであろうから、最高裁のおえらいさんたちも、単なるデクの坊だとは思いたくないが、十日の余りも風邪の高熱に悩まされつづけていたいまの私には厚いカスミの彼方のことのように、国内の金権政治、世界の大国内での混乱劇、ピーケーオー、オキナワ、テンノウ、集団自決、受忍許容範囲、国旗、過激派集団、右翼暴力団、政治結社。何んだこれは。

### 私の職場

私はよく初対面の人に「お勤めはどこですか？」と聞かれる事があります。「カナダ大使館です」と答えると多くの方は怪訝そうな顔をします。「OO商事です」とか「XX製作所」と答えればすぐに分かって問題ないのですが耳慣れない大使館など外国政府代表部となると理解出来ないようです。

そこで今回は我が大使館を少し紹介したいと思います。1929年、日本とカナダ両国間に外交関係が樹立され東京にカナダ公使館が開館しました。それ以来両国間の関係は政治、経済などさまざまな活動や交流へと大きく発展しました。戦後すぐに公使館から大使館になり2年前には新庁舎が完成し日加両国の交流の場としてますます期待されるようになりました。新庁舎には3つの顔があります。

第一の顔は大使以下の館員が対日外交を進め、貿易、科学技術交流、文化交流などを促進し、あるいはビザ業務を行なうための事務所です。館員はここを基地として、多くの人と会い、各地を飛び回り、本国と連絡をとります。いわゆる大使館のオペレーションセンターです。特殊ガラスの屋根をかぶせて、自然光をふんだんに取り入れた5階から8階までは、こうした機能を果たすための、大使室、超近代的な事務室、会議室などがあります。

第二の顔は、日本との交流の場です。さまざまな文化行事、トレードショー、会議などを通じて、カナダ人と日本人がここで接触し、理解し合い、あるいは商談します。その他4階には、展示場、ホテル並みの調理場などがあり、物産展、投資セミナーなどが行なわれています。劇場兼宴会場ギャラリー、リサーチライブラリーがある地下2階は、美術展、コンサート、映画会、講演会、記者会見など、年中催物が開かれています。第3の顔として、新庁舎のビルの一部は、日加交流の精神をいかして、カナダの州政府事務所や、日本の会社などが入っています。

上に述べたように、カナダ大使館の一部は、一般にも開放されていますので、ぜひ一度見学にいらしてください。

鈴木富雄

### 委員会だより

(3月14日(日) 13名出席)

- 2月度決算報告を了承。
- 三浦海岸教会(注:三鐵から分離)献堂式:  
・4/4 2:00PMより挙行。清水委員長が出席。
- ウルフ神父様の叙階50周年お祝い(10/28):  
・当教会もお祝いを差上げるが、内容は、他の教会の動きもみて決めていく。
- 『庭を綺麗にする会』:  
・3/21 9時のごミサ終了後、壮年会主催で生け垣を整備。(つげの木を植える。)  
・スコップ持参。・終了後、懇親会を開催。
- 4/11のご復活祭:  
・10時ミサ終了後、パーティ開催。  
・昨年同様『持ち寄り』形式でやる。
- ごミサの運営に関する意見:  
・気配りが足りないのではないかと、という指摘(清水委員長)あり。  
【例】先唱の当番、待者の件、... e t c.  
・注意を喚起すると共に、今後の継続課題。  
・また、何故そうなるのか、もっと根源的な問題を考えるべきとの意見あり。
- 信徒会のお金(バザー収益金)の使い道の件:  
・婦人会結果:教会修理、扇風機購入、テント購入など。  
・壮年会結果:アンケート取り纏め。設備購入、寄付、(将来に向けての)長期的運用、などの意見が寄せられている。
- 枝の主日: 枝の手配を婦人会にお願いする。
- 掃除機、洗濯機購入の件:  
・掃除機は購入済みであるが、洗濯機については購入は保留する。

以上

### 壮年会だより

(3月21日 15名出席 14名応援)

#### <青垣の植樹会>

お彼岸の暖かい日和に恵まれて、壮年会主催の青垣の植樹会が行われました。今までの青垣が檜などの高木で手入れが大変なので、実施されたものです。「庭をきれいにする会」が計画し、教会が苗の費用を負担しました。

作業は大勢なので簡単と思いきや、檜の根が邪魔をして、大変な穴掘りとなってしまいました。青年会や婦人会の応援に大いに助けられて、途中で休むこともなく、一時間ほどの大奮闘で立派に完了しました。総勢27名の老若男女の力の結集は素晴らしいものでした。

苗の種類は「キンメツゲ」という高級種で、葉が小さく密で芽立ちが金色がかった黄緑です。2Mの高さの青垣が完成するには5年間かかるそうです。完成までは下草刈りや消毒等の手入れが肝要とのことです。

<例会>  
今回は委員会の報告のみで済ませました。

<懇親会>  
大汗を流した後に、婦人会の方々のご準備くださった飲食物で懇親会を開きました。武田さんがお手製の美味しい豚汁も用意してくださいました。6名の青年(壮年?)も加わり、自由でとても楽しい一時となりました。高齢化の波の中若い苗が植えられ、すくすくと育って行く喜びを夢見ながら.....



### 婦人会だより

(3月21日 30名出席)

- 委員会報告.....上野
- 復活祭の準備について  
イ、枝の準備:4月2日(金)午前10時~役員他自由参加で枝洗いの作業を行います。  
ロ、卵ゆでと大掃除:4月10日(土)午前10時~お手伝いをお願いします。
- 復活祭ミサ後『持ち寄りパーティ』を開きます。教会からも用意致しますので、準備のできない方も、どうぞ御参加下さい。
- 例会の当番について.....お茶の用意の他汚れが目につく際は掃除機もお願い致します
- 春の遠足...目的地:横須賀市立葛浦門  
日時:6月中旬頃の予定  
(詳細は次号にて)
- 福音宣教委員の清尾さんから、2月27日、28日の両日、磯子教会で開催された環境委員会の協議内容につき報告がありました。
- 次回例会:4月18日、お茶当番はB地区。おむつ縫い:4月2日(金)午後1時~御協力をお願い致します。

### お知らせ

- 受洗  
3月14日(日) パウロ 山中 健三
- 結婚  
日野市 高幡教会 4月2日(金)  
パウロ 石原 信行  
マリア グレース 福島 恵美
- 建堂式  
三浦海岸教会 4月4日(日)午後2時
- 金祝  
金沢教会 土井神父様 5月5日(水)
- 聖週間の時間  
聖木(8日)金(9日)土(10)午後8時  
聖金日は大斎、小斎  
ご復活のミサ 午前10時  
ミサ後持ち寄りパーティ
- 堅信(5月2日)の為の準備の要理  
毎日曜日午前8時15分より行っています。  
(現在6年以上の方でまだ受けていない方、また該当者は洗礼証明書もお願いします。)

5月の行事

2日	堅信式	ミサ後
9日	サロン	"
16日	壮年会	"
23日	婦人会	"
	サロン	"



第181回

カトリック中和田教会  
 広報委員会発行  
 泉区 中田町 2701  
 TEL 045-803-6141  
 1993年5月2日



This is a Book.

山崎 正俊

「これは本です」と、友人のケンブリッジ大学のB教授は日本の税関で、いとも荘厳にお答えさせられることになった。はじめて日本語を習ったときの第一頁の例文が、この文章であったことを大きな驚きと懐かしさをもって思い出しながら、

(筑摩書房のPR誌「ちくま」四月号に、林望先生が書いておられる。)

沢山の参考書を大きな鞆に詰め込んで日本に来たら、その中身は何かと尋ねられ、あの例文が役に立ったのだという。「これは笑いごとでは済まされない重大な問題を含んでいるのではなかろうか。さて……」。この「さて」のあとの点々のところが、実は大変なところなのですけれど、ここで予定のスペースが終っている。このあとが何と続くのか、私には見当もつけられないが、それらしい説明は記されているようにも思える。

このような文章は「どこにもありえない」奇っ怪千万な表現だと思われるのに、このような例文を暗唱して、それで英語を勉強したつもりでいたときもあった。このような例文などは日本の英語教科書の裏返しなのであろう。

「ハヤシさん、日本の教科書は役に立つねえ」——僕は日本語を勉強して二十年、初めてこの例文を役立てる場面に遭遇したよ。

痛烈なヒニクかもね。(分をわきまえぬことですが、そのような教科書でも赤点しかとれなかった者に、異をとらえさせてください。)

或るボクシングのチャンピオンのことですが、一生に一度つかうことがあるかどうかといえそうなテクニックを、繰返し練習するわけを話しているのを読んだからです。——このテクニックを使ってしか反撃できないような場合に、このテクニックをうまく使いこなせないならば、私は相手のその一撃でマットに沈まされてしまうようなことになるかもしれない。その基本もおろそかにしてはならないことは勿論ですが、それと共にあらゆる不測の場合も予想した対応のしかたの研究と練習が、ふだんの心掛けとして大切なことです。

実は、その初歩の段階から、いちばん不得手なものを道具として受けとらされた無力な者のまっとうな道は、遠まわりしてゆっくりと気楽に歩める、そういった道しか残されていないのでは……

教会会計を引き継ぐにあたって

中和田教会の会計を前任の甲斐さんから引き継いだのが昭和61年、早くも8年、素人であった私を助けて頂いた七浦さんを始め委員会の皆さん、信者の皆さんに深く感謝致します。こんどは金融の専門家である藤田さんに引き継ぐべく、現在実施中です。

教会会計の内容を若干説明しますと、まず日常作業として毎日曜日？ 献金箱を開鍵し、各献金の仕分けを行ないます。教会献金・特別献金・壮年会・婦人会・一粒会等があります。

教会献金・特別献金をさらに月定献金・愛の献金に仕分けして入金票を作成、各人ごとに帳簿に記載、領収印を捺印します。

支出については各担当ごとに持参された領収書を確認し、費目を決め、支払票を作成、お金を支払います。又神父様の生活費や賄いの謝礼等は支払票を作成し銀行の払い戻し票を作ります。

最後に当日の収支を記入した一覧表を作成し、項目ごとの銀行預け入れ票を添付して神父様へお渡します。項目は一般会計口座、愛の献金口座、建設会計口座の3種類があります。

定期作業としては毎月の教会委員会への報告書を作成し、財務状況を委員会で報告します。

また、指定献金については該当月に聖堂入り口の指定献金箱を開鍵、愛の献金口座から一定額を加算して振り込み用紙を作成し神父さまへお渡しします。その他火災保険、本部分担金等の振り込み、建設会計口座からの信徒会館建設費用の借入金及び利息の支払いが年2回実施されます。

年末には次年度の予算案と年度の決算書を作成し、教会委員会で協議、また決算については監査委員の監査を受けて信徒総会に臨みます。

それから毎年末教区から送付される決算報告書・固定資産・備品増減票等を記入し、銀行の残高照明を添付して、教会税理士の監査を受け年度の作業を終了します。

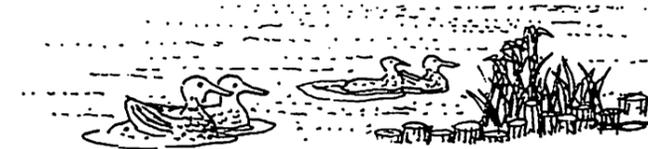
8年間の会計業務で感じたことを2~3点申し上げますと、まず月定献金の額の伸びが少ない事です。長期の展望に立ったときやはり不安を禁じ得ません。2番目に山崎神父様からの多額の献金です。信徒会館建設費用の借入金の返済は、その献金が無ければ無理でした。今後委員会で考える必要があります。最後に委員の任期です。再選・再選がくり返され長期になると新しい息吹がなくなると共に、委員へのなりてがいなくなる危惧を感じます。定期的な交替、新しい人の参加を期待して止みません。

橋 幸雄

壮年会たより

(4月18日 13名出席)

- 1) 委員会報告
- 2) 「信徒会積立金」活用に関するアンケート調査結果の紹介があった。
- 3) サロンについて
  - ・趣味作品の展示等、サロンムードを盛り上げる為のアイデアが出された。
  - ・利用人員に見合ったスペースを確保する為、集会室内備品のレイアウトを見直すことになった。
- 4) 教区、他教会等からの情報整理、伝達の件
  - ・事務局的作用の機関又は人物の設置
  - ・お知らせタイムの設置(例:ミサ後)
 これらの事項は今後の検討課題とし、委員会にも提言することとした。
- 5) 堅信式の件
  - ・式次第の概要についての紹介があった。
  - ・祝宴に関して前日の段取り、当日の手伝い等全面的協力を申し合わせた。



婦人会だより

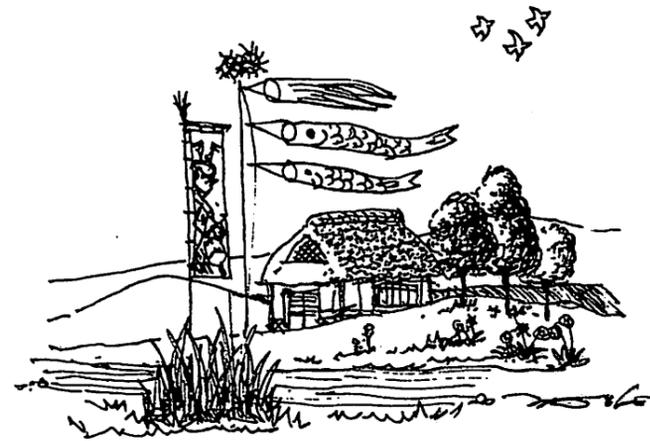
(4月18日 30名出席)

- 1 復活祭の反省  
お手伝いご苦労さまでした。
- 2 堅信式について  
5月2日第1日曜日9時のミサで堅信式が執り行なわれます。終了後、『焼肉パーティ』があり、教会からお寿司、オードブル、飲み物等が用意されます。
- 3 遠足の日程・・・役員が下見後に掲示します。
- 4 委員会報告(石川、竹田さん)
- 5 バザーについて  
“今年もバザーを開催した方がよいか?”について、活発な意見交換がなされました。この件につき、近々、アンケート調査をすることになりました。御協力をお願い致します。
- 6 お茶、煎餅の申込み締切は終了、次回は6月。
- 7 ◎おむつ縫い; 5月8日(土)午前10時~  
◎次回例会; 5月23日(第4日曜日)、お茶当番はC地区、宜しくお願い致します。

委員会だより

(4月4日(日) 12名出席)

1. 財務報告: 3月度報告 ⇨ 了承
2. 4/11ご復活ミサ後のパーティに関する確認: 持寄り形式、教会の用意品、テーブル配置等。
3. 三浦海岸教会 献堂式(4/4 2:00PM ~): 清水委員長の出席を確認。
4. 信徒会基金の件: 壮年会、婦人会より建設的なご意見と頂きました。討議の結果、●信徒会より¥500,000を中和田教会建設会計に寄付することに致しました。尚、残金は信徒会基金にそのまま残します。
5. 要理学校: 新一年生2名の予定含めて、平成5年度在校生は11名になります。一年 2、三年 4、五年 2、六年 3
6. 横浜教区NICE2: 私達は3つの課題を考えねばならないと思います。壮年会、婦人会共色々と活躍していますが、益々有意義なサークル活動を望みます。
7. 中和田教会の在籍者の実態調査: (1992年1月1日~1992年12月31日): 信徒総数 男161、女185、計346名簿住所録の新規作成の要望あり。清水委員長が起案して、委員会に諮ります。
8. 堅信式(5/2): 受堅者 7名の予定。司教様を囲んでの祝賀会を開催。費用は、教会負担。プログラム等、更に4/17(土) 10:00AMに委員会を開催して決める予定。 以上



お知らせ

- ・結婚  
ヨハネ 宮崎 誠  
中島 美恵子  
5月1日(土) 上智大学 聖堂
- ・15日、16日のミサについて  
15日(土) 19:00 のミサは有りません。  
16日(日) 7:00 と9:00のミサは森田神父様

6月の行事  
6日委員会ミサ後  
20日壮年会  
婦人会  
サロン 13、27  
レジオ11、18、25



# なかわだ 会報

第182回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年6月6日



## 「ジュリア祭巡礼」 ミサの説教

1

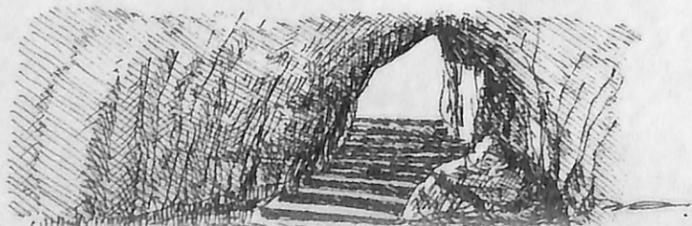
山崎正俊

おたあジュリア様を記念する、この巡礼に参加し、御ミサを捧げ、こうして、この話しをさせて、いただけるということに、大きな喜びを感じ感謝の思いでいっぱいです。――しばらくの間のガマンのほどをお願い致します。

約12年前まで川崎市にいたとき、この巡礼に参加するように、他の人に進めたり、その受付の窓口をしたりしていました。けれども私のほうは、一度も参加できぬままに、横浜市の奥の教会に移って、関係が切れてしまいました。それがこの度、こうして皆様と御一緒することができて神様の御摂理の大きさを強く感じています。

おたあジュリア様のことをそれほど知ってはいないのですが、それでも、豊臣秀吉が朝鮮に戦争をしかけたとき、それに家来たちをつれて参加した小西行長が、ひとりぼっちになっていた幼い少女を引取って連れ帰り、自分の子として育てたのが、ここに記念されているお方だとは聞いています。ですから、このお方は、韓国の出身の人です。しかも、このおたあジュリア様がキリスト教の信仰を捨てなかつたので、この神津島にまで、島流しにされたのだということも、わかっています。それなのにこの島の人たちは、いまに至るまでこのお方を、大切にお守りしているのです。

どんなに立派なおやさしいお方であったとしても、それほどのことをし続けたこの神津島の人たちの愛情の深さを私も感じます。そのあとも、キリスト教は迫害され、権力者によって禁じられているのに、このところでは変わることもなく、その御冥福が祈られつづけたということは、本当に有難いことです。そのようにすることによって、イエズス様の精神が、この島にもしっかりと守り伝えられることになったのです。誰でもが弱い立場の人をいためつけても権力者の前に、自分をカバオウとするのに、誠実さと思いやり深さをもって、助け合い支え合って生きてくださる。これはすばらしいことです。



## “反省”

「何故信者になったのですか」戦前は勿論戦後になっても度々受けた質問です。私の受洗は、53年前――昭和15年6月(1940)――17才の年でした。翌昭和16年12月には日本が米国に対し戦宣を布告し、既に中国大陸では数年前から中国を相手に戦火を交えており、国粋主義、軍国主義が国内をカッポしておりましたし、私の家庭は親族も含めて凡そカトリックとは無縁な環境で私が受洗したことは周囲から奇異な眼で見られていました。私自身中学に入学する迄は宗教等には全く関心も持っておりませんでした。中学に入学して間もなくある機会に上智大学のH神父(独乙人)にお会いしたのが受洗の動機でした。H神父は決して追従等口にはされずむしろ一種の厳しささえも感じる程で特に受洗を勧めるようなこともされませんでした。お会いする度におのおう人柄に言い得ぬ魅力と信頼を感じるようになりました。

当時は日本人でさえ日常生活にいろいろと制約を受け食糧も次第に不足する中で、独乙人であっても――その頃日本・独乙・伊太利の三国は同盟国――キリスト教の神父であるということに白眼視されスパイ視されている孤独の環境で不平らしき言葉すら口にされず清貧・貞潔・従順の生活を過ごされ、我々日本人が受ける苦しみや痛みを己のものとして只管信仰に生きる姿に、進軍ラッパのみ威勢よく吹き鳴らされる時勢の中で我々(私独りではなくそうした神父様方に接する学生達)はある種の親しみと安らぎを覚えたものです。私に芽生えた信仰の心はこうした目に映る神父様方の崇高な生きざまを通してでした。率直に申して私が受洗を決意した最大の理由は、卓越した学識と優れた人柄の方々が己の総べてを捨てて信ずる神であれば仮令だまされてもよいではないかと思ったことです。その頃の私が「カトリック」に関してどれほど深い理解があったか甚だ疑問ですが、又単なる興味本位や同情で教理を聞き受洗したわけでもありません。

「何故信者になったのですか」友人、知人、会社かつては警察、軍隊でも受けた質問ですが、何時頃からか「信じるものがあるから」と答えた後で心の中に「本当にお前はカトリック信者なのか」「お前の信仰は本物か」という声が聞こえ何か心ざびしく混沌たる思で、己の信仰に対する反省の機会ともなるようになりました。「信仰は義務か」「信仰は本物か」「他人の痛みを己のものに出来るか」「化石の信者」共同告解時の神父様の問いかけが70年を生き未知の体験を迎える準備も必要な私の今日、心に強く響いてまいります。

(1993. 5. H. T)

## 巡礼雑詠

丸田 綾子

異国の上ふみてより友等みな  
ローマの休日せんなど華やく

はるばると来つるものかなヴァチカンの  
場に立てるを夢かと思ふ

み使いの声かともごうボーイソプラノの  
歌にわが魂うつつを抜けえづ  
(列福式にあづかりて)

膝つきて登る聖なるきざはしも  
主のみ苦しみに比らぶべくなし  
(聖なる階段)

朝まだき露台に立てば濃きもやの  
中より鳥のさえずりしげし  
(ヴェニツェアの宿にて)

## 委員会だより

<5月9日(日) 10名出席>

- 財務報告：4月度報告(藤田委員)。  
行事が続き、一般会計収支はマイナス。
- 堅信式/パーティ(5/2)の報告：  
・浜尾司教様の司式で7名が受堅。  
・パーティも和やかな雰囲気です無事終了。
- 山崎神父様出張(神津島；5/15～5/17)：  
・5/15(土)ごミサはお休み。  
・5/16(日)7時と9時のごミサには司教館より森田神父様がこられる。
- バザーの件：  
・婦人会はアンケート実施中(5/9 締切)で、その結果で対応を決定。  
・壮年会は、婦人会の意向に沿う旨決定済み。
- 『ご意見箱』の件：  
・最近には壮年会、婦人会からいろいろ建設的な意見を頂ける様になって来た。故に、敢えて『ご意見箱』を設置する必要性は認められず、本件は取下げとする。
- 『情報の伝達遅れ』の件(壮年会提起)：  
結論：広報委員に迅速の新しい情報を提供すべく、清水委員長が郵便物等のチェックを適宜行う。
- 中和田教会所属信徒の実態調査：  
・15年史編纂時以降の転入・転出の実態調査(信徒調査書の確認も含む)を行う。(担当：清水、小野)
- 山崎神父様の霊名祝日(6/29)：  
霊的花束等準備(萩原委員)。
- 中和田教会献堂20周年イベント：  
・上記7項の調査を基にした信徒名簿を作成。  
・その他のイベントについては、やるかやらないか、やるとすればその内容について今後詰めていく。
- 一粒会報告(小谷さん)の件：  
・報告内容の紹介あり。更に、本件は壮年会、婦人会に伝達していく。
- 侍者の祭服：  
・古くなっており、且つ小さいので新規購入を検討する。(下見、調査や小山委員)以上

## 壮年会だより

(5月16日 11社様)

- 委員会報告(鈴木さん)
- 国際援助物資について  
・森田神父さんの説教で手渡しできちんと渡るとのことで安心した。  
・日用品が喜ばれるとのことだが、山手の教区へ届けばよいのか？修道会や第5宣教区の活動などの制度の確認が必要。
- ハイキング(4/29)が雨で中止で残念  
・土曜日や7時のミサ後はどうか、足の強さによってコースを分けてはどうかなどの意見。  
・今年度は、秋一回にしばらく、9時のミサ後に行うことに決定。
- サロンの件  
・物を方付けてスペースを確保したい。間仕切を撤去、古い冷蔵庫等は廃棄し、旧集會室と新集會室の間に倉庫を作りテーブルなどを収納するなどのアイディアが出された。  
・菓子等の材料費も予算化の方向で。

## 婦人会だより

(5月23日 31名出席)

- 委員会報告(楠田、佐々木さん)
- 遠足について  
\*目的地 横須賀市立しょうぶ園  
\*月日 6月17日(木)、雨天決行  
\*集合 午前10時、JR戸塚駅の2階改札前通路  
(10時18分発の横須賀線に乗り予定)  
\*費用 1,140円(電車代、現地でのタクシー代)。尚、入園料300円は婦人会で負担致します。お弁当は各人でご持参下さい。  
\*申込み 申込み記入表を掲示しますので、参加希望者はご記入下さい。多数の御参加をお待ち致します。
- バザーについて  
アンケート集計結果では、ミニバザー実施希望が多数でしたが、実施方法は役員一任となりました。
- お茶、煎餅の申込み；次回は6月20日(第3日曜日)です。
- ◎おむつ縫い；6月11日(金)午前10時～正午  
◎次回例会；6月20日(第3日曜日)、お茶当番はD地区、宜しくお願致します。

## お知らせ

・6/10(木) 岩永 尚志神父様のための葬儀ミサ 山手教会 10:00より

・洗礼 ヨハネ 下迫 英司

7月の行事  
4日委員会 ミサ後  
18日壮年会 "  
婦人会 "  
サロン 11、25  
レゾ9、16、23、30



## 第183回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年7月4日

## 「ジュリア祭巡礼」 ミサの説教

②

山崎正俊

◎ みなさまも、マーチン・ルーサー・キング牧師の名はお聞きになったと思いますが、この人と対立して、この人のやりかたに厳しい批判をしながら、自分なりの黒人解放運動をしていたマルコム・Xと云われる指導者のことです。この人は最後には、その暴力的な方法はやわらげられてゆきそうになるのですが、まだ新しいことはほとんど何もしないうちに暗殺されてしまいました。

その父は、人間あつかいされていない黒人の地位を高めるために、牧師の立場から闘っていたので、それにガマンできない人たちによって、虐殺されてしまいました。その母はそのためか、精神病院に入らなければならぬほどにも、心を痛めつけられ、その家庭は破壊されてしまいました。

さすがのマルコム少年も、社会の底辺でしか生きる道がありませんでした。しかし、いくらか成長するにつれて、白人に対するニクシミを教え込まれ、「眼には眼を、歯には歯を」の言葉を「やられたら、やりかえせ」「やられるまえに、やっつけろ」との説明と一緒に聞くと、白人への呪いの声をあげはじめ、いつしか、その戦いの先頭を切るほどの者になってゆき、ついに、白人たち、人種差別主義者たちの憎しみは、このマルコム・Xに集中しはじめ、その間には、マホメット教徒の仲間になったり離れたたりもしています。

生命の危険を心配した姉にすすめられて、すこしは頭を冷やして来たというわけか、マホメットの聖なる都・メッカに巡礼し、ついでに、ヨーロッパや祖父の地アフリカを廻る旅を続けて、至るところで黒人たちの悲惨な様子に心打たれたり、驚きあきれたりすることになったのでしょうか、ふたたびアメリカに帰ってきたときには、その考えが変りはじめていたと云われています。

私は、どのように変りはじめていたのかを知らないのですが、このマルコム・X道師といまでも呼ばれていく、敵対する者は、人種差別主義者だけでなく、もともとは協力していなければならぬはずの、黒人解放を闘っている人たちのうちにもふえたのだそうです。それは、人たよりもっと広い視野と高い見識をそなえた偉大な人物になりはじめたので、それまでついて来ていた人たちとも、物の見方が違って来たからでした。

## 想 い

私の息子は、生まれながらに、アトピー性皮膚炎という病気で悩まされ続けてきました。幼少の頃は、それほどひどくはなかったアトピーも年を越すごと、ひどくなってきました。よくアトピーは年齢と共によくなっていくといういわれとは逆に、良くなる兆しが見られません。あらゆる手を尽くしています。病院、アルカリイオン水、クロレラ、栄養補給食品、親としてそんな息子を見ていて不憫でなりません。

最近、顔面のアトピーがひどい為、大人からいろいろな事を言われます。「ひどいね。どうしたの?」「これがアトピーなの?」などなど... おっしゃった方は、悪気があって言ったのではないことは、良く分かります。でも息子にとってはアトピーはひとつのハンディーなのです。人に言われるたびに「お母さん、また言われた... アトピーは、ぼくが一番気にしていることなのに... つらい」と... 健康なお子さんをお持ちの方には、わからないのかもしれませんが、私は、こんな時、「アトピーの事を言う時は、本人に聞こえよがしに言うのではなく、親がいる所で堂々と行って下さい。」といつも思います。子供はそれを言われても、その大人に対し何も言えず、そっと私に打ち明けるのです。ひとり、小さな胸を痛めているのです。私がいれば極端かもしれませんが、「あなたは、障害を持ったお子さんに対し、面と向かって、あなたは障害者ですね。とおっしゃいますか?」と言うことだってできます。子供はひとり耐えている。なんと、悲しいことでしょうかと私は思います。

こういう子供を持つと、親は本当に、人間として愛とは何かという事を考えさせられます。人の心の痛みが分かる。本当に、人を愛するという事は、こんなことが礎になっているのではないのでしょうか?

私はいつも子供に言い聞かせます。負けたら駄目だ。逃げては駄目だと... 強く生きろと... 教会に来て、御ミサにあずかり、我が子の健康を願うと共に、親として、人間として、どんな時にも、強く、たくましく、そして自分自身が健康で、元気でいられる事に感謝すると共に、世界にいるすべての悩める子供達の幸せを、切に祈ってやみません。

神に感謝... アーメン  
(1993. 6 T. F.)

## 委員会だより <6月6日 13名出席>

1. 財務報告：5月度報告（藤田委員）。信徒会バザー収益中、500,000円を建設会計に移行した旨報告。
2. 山崎神父様の霊名祝日（6/29）：霊的花束準備を再確認（萩原委員）。
3. バザーの件：  
・婦人会はアンケート結果により、バザー実施を決定（⇒委員会に申し入れ）。  
・開催日は10/31に仮決めする。  
・バザー委員会を、委員会1名、壮年会2名、婦人会2名のメンバー構成で設置する。委員会からは花坂さんが参画。
4. 中和田教会献堂20周年イベント：  
・イベント内容提案については宿題（継続）。  
・イベントの一環として行う信徒名簿の改訂、信徒異動実態調査（信徒調書の確認を含む）については、各信徒宛協力依頼文書の内容を審議、その結果いくつかの修正点を織り込んで次回委員会で再度審議する。
5. 侍者の祭服の新規購入の件：  
・調査結果の報告（小山委員）。  
・結論として2着購入することに決定。
6. 宣教委員会出席報告：  
・壮年会 石崎さんより出席報告、並びに他教会の状況報告あり。

以上

## 婦人会だより (6月20日 31名出席)

1. 遠足の報告... 会長  
晴天に恵まれ、参加者18名で楽しく行って参りました。ありがとうございました（6月17日、横須賀市立しょうぶ園）。
2. 委員会報告... 宮崎
3. 福音宣教委員より... 清尾  
7月6日（火）午前10時から、当教会にて環境問題についての勉強会を開きます。多数の御参加をお待ち致しております。
4. 『ドミニコ会製クッキー』の委託販売  
4ヶ月毎位に一回、販売致したい予定です。よろしくお祈いします。
5. バザーについて  
①開催月日：10月31日（第5日曜日）  
②手芸品の製作；手芸品材料を配布しますので各自で製作をお願い致します。自主的製作品も大歓迎です。  
③不用品の御提供のお願い；御家庭での新品、中古の不用品を御提供下さい。  
<品物の置場所>... 当初は台所奥の和室  
④役員分担  
会計（宮崎）、手芸品（石川）、食堂（楠田、小野）、ケーキ（佐々木、竹田）、中古の不用品（清尾）、新品の不用品（上野）
6. 新会員の御紹介  
マルタ林節子さん（B地区）
7. ◎おむつ縫い；7月10日（土）午前10時～正午  
◎次回例会；7月18日（第3日曜日）、お茶当番はA地区、宜しくお願い致します。

## 壮年会だより (6月20日 11名出席)

1. 委員会報告（宮崎会長より）
2. 信徒在籍者調査について  
教会に長期に渡って来ない信者をどう扱ったらいのか?の質問に対して、次のような説明や意見が出されました。  
・抹消しないで残して置いて欲しい。人生に何かがあったとき、戻ってくる人もいるのだから。  
・受洗した教会に基本台帳があり、一生消えることがない（事故で紛失はある）。  
・20周年に際し、台帳の整理と転出入者の調査をきちんとして置きたい。
3. 宣教委員会活動報告（石崎さんより）  
7つの教会が集まり、5つの課題を決め、分担して活動に当たることになった。中和田教会は「環境問題」を担当することとなり、責任者を婦人会の瀬尾さんが引き受けてくださった。話し合いを持ちながら、実践をだしながら、身近なところから、地域から、実行できることを積み上げて行きたい等の意見が出されました。
4. サロンについて  
貴重な時間を使いながら、単なるだべりの場になっていないか?という意見が出されました。これに対して、親睦の場として非常に有効、家庭対家庭のコミュニケーションの場になる、時間はかかるが何かが生れてくるはず等の積極的意見が多数出されました。

## お知らせ

バザー委員会メンバー  
委員会 花坂  
壮年会 鈴木 甲斐  
婦人会 石川 楠田

## 転入

マルタ 林 節子  
泉区和泉町3348-1 TEL 801-6341

## 結婚

ヨハネ 下迫 英司  
テレジア " 久美子 (旧姓 松下)  
6月13日(日) 於 東京 碑文谷教会

## 編集後記

7月に入って本格的な梅雨となりました。うっとうしい時期が続くと考えると嫌になりますが、広報委員会にとっては嬉しいニュースがあります。七浦さんがこの「中和田会報」の編集制作に協力して下さいます。岩淵さんも既にワープロでの作成に協力載っていますので、これからの「中和田」に、ますますご期待ください。

9月の行事

5日委員会ミサ後  
19日壮年会  
婦人会  
サロン 12、26  
レジオ 10、17、24



第184回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年9月5日

「ジュリア祭巡礼」  
ミサの説教 ③

山崎正俊

◎ 悪にたいして、善を以て報いなさい。数限りなく赦しなさいという教えによって、モーゼの掟を変えてしまう高慢な奴ということもあって、イエズス様を死刑台に押し上げた同じ流れがマーチン・ルーサー・キング牧師を葬り去るのですが、この方は、インドのマハトマと呼ばれた指導者ガンジーの影響を受けていると云われています。その当時、インドにはもう一人、アンベードカルという指導者がおり、この方はこの前の戦争のあとのインドの憲法を制定するのに力があった、法律についてのすぐれた学者だそうですが、インドでのカースト制度をやめさせることについての、マハトマ・ガンジーの無力さをなげいて、自分なりの判断によって仏教への集団入信をさせたりして、ある程度の成功をおさめたりしていると聞いたことがあります。（日本での仏教は、それほど社会的に弱い立場の人の側に、いつでも立っているとも思えないので、インドのカースト制度がそれほどにもヒドイのか、日本の仏教がそれほどにも落ちてしまったのか、わけがわからないのですが、それは別のことです。）しかし、マハトマ・ガンジーの不服従運動や無抵抗主義といわれる政治行動は、かなりの効果があったようです。ガンジー翁はロシアのレフ・トルストイの考えに感動し、賛成していると云われています。このロシアでは、正教会は国家の宗教ですが、そのころの教会は、このトルストイを教会から追い出したのです。これは、たいへんなことです。

◎ 実は、私たちのカトリック教会も、このトルストイを心よく思っていない。私は洗礼を受けるまえに、このトルストイの本を手離すようにすすめられました。ところが、今年の正月の「世界平和のために祈る、教皇ヨハネ・パウロ二世からの手紙」では、戦争は何も解決しないのです。貧しい弱い立場の人たちの不幸をふやすだけなのです。そのところを日本語訳で読んだのですが、この言葉は暴力の罪深かさを告発しているのにちがいないと感じました。そのニクシミは、それにもとづく暴力は、さらに大きなニクシミ、さらに大きな暴力となって、すべてを滅亡に導くことになるという意味だと思いますので、この言葉は、私のイノチに、「希望の光」となりました。

宣教委員会便り

かわいたノドを潤す一杯の水。水の恵みを感じるひととき。私達の毎日の暮らしはさまざまな水の働きによってささえられています。

朝、顔を洗い、歯を磨き、米を研ぐ、調理する皿を洗う、後片づけ、そして洗濯、拭き掃除、風呂、トイレ等。私達は水道の蛇口をひねるとききれいな水が使えることが当然当たり前と認めています。それなのに、使い終わって、汚れた水がどうなるのか気にすることはほとんどありません。

川や海が汚れてきたことは誰でも知っているのに、汚れているのは他の人だと思っているようです。今、私達の暮らしの中に、水の汚れの原因を見つけ、少しでも環境にやさしい生活スタイルに変えて、水への思いやりが必要だと思います。水をとおして、自然と交流し、触れあって、自然から借りた水は、できるだけきれいに自然に戻す。それが自然への感謝であり、次の世代への責任でもあると思います。

ところで、私達が、取り組まなければならない環境問題はたくさんあります。オゾン層の破壊、地球の温暖化、酸性雨、海洋汚染、野性生物種の減少等、このかけがえのない神様からの贈り物である地球の環境を何とかして守り続ける努力をしなければと考えます。

私たちの共同体には、開かれた教会作りをめざして検討すべき問題が数多くあります。私達一人一人が主において一致し、いつも聖霊の光を求めて言葉と行いをもって、御旨を果たす事ができますよう、新たな第一歩を踏み始める「環境問題」の学習会を開いています。

次回例会日は10月2日(土)  
AM10:00~12:00 皆様の参加を希望します。

文責 石崎

委員会だより  
＜7月4日開催 11名出席＞

1. 財務報告：6月度報告（藤田委員）を了承。
2. バザーの件：★開催日は10/31(日)。  
・バザー委員が決まった旨報告あり。  
委員会から... 花坂さん、  
壮年会から... 鈴木さん、甲斐さん、  
婦人会から... 石川さん、楠田さん。
3. 侍者の祭服の件（経過報告；小山委員）：  
・「ピエタ」の他にも修道会をあたっている。  
・遅くとも、クリスマス迄には間に合わせる予定で進める。
4. 教会献堂20周年イベント（清水委員長、小野）  
・住所録改訂、並びに（信徒異動に伴う）  
信徒調書内容確認の協力の依頼書の原案  
について審議を行い、内容確定。  
・7/11のごミサ終了後、説明を行う。
5. 夏期学校の件（井上委員）：  
・今年、8/7(土)～8/8(日)の一泊二日。  
・8/7は全日、8/8は9時のミサ終了後解散。  
・7/25ミサ終了後、父兄会を開いて説明実施。  
・尚、『日曜学校をやめて土曜学校にする』  
提案が出て来ている。関係者と相談して、  
決めていく。
6. 宣教委員会の動き／環境問題：  
・教区宣教委員会の石崎委員、清尾委員（環  
境問題担当）を中心とした勉強会が7/6(火)  
)に行われる。
7. 卓球大会：  
・本年も、宮崎壮年会長に面倒をみていただく。  
・実行委員は、壮年会から鈴木さん、井上さん、  
婦人会から小山さん、そして  
青年会からも参加頂く予定。  
・開催日候補は8/22、または8/29。

以上

壮年会だより  
(7月8日 9名出席)

1. 委員会報告（宮崎会長より）
2. 庭の手入れ・懇親会について  
8月1日(日)のミサ後。青年会に応援を  
求める。連絡網にて連絡。  
モミの木は定植はクリスマス後に。
3. 集会所の収納の増設について  
既成品を検討。通路のことも考え合わせる。  
同時に不要物の廃棄も行う。
4. サロンは継続発展を！  
長いスパンで見れば行けばよい。婦人会の人  
も継続を希望。世間話から小さな運動へ、  
小さな運動から大きな運動へと広がってい  
けばよい。壮年会員そのものの出席が少ない。  
宣伝や勧誘が必要（看板・BGM等）。
5. 環境問題の勉強会について  
\*2/27、28 カトリックセンターで勉強会。  
清尾さんと清水さんが出席  
磯子教会の小笠原さんがリーダー  
聖書の創世記から入り、難しかった。

- \*7/6 中和田教会で勉強会。  
資料：「s. 62. 1. 2の読売“地球発SOS”」  
「地球を救う127の方法」  
「カトリックセンターからのもの」
- \*8/7(土) 中和田教会で第二回勉強会をします。  
・9月の宣教委員会に向けて何かをまとめたい。  
・項目をリストアップし、しぼり込み、当教  
会のできることを決めていきたい。  
・教区の責任者にもきてもらい、教区の考えと  
の調整をはかりたい。  
・壮年会員も参加を！

婦人会だより  
(7月18日 32名出席)

1. 委員会報告... 上野
2. 信徒調書の記入の仕方について意見交換
3. 出来上がりしました“おむつ”半期分を『奄美の園』へお送り致しました。いつも御奉仕有難うございます... 会長 綺麗な絵葉書の礼状を頂戴し返し読みました。
4. バザーの具体的内容についての話し合い  
\*手作品... 無理のないよう、配けた分を主に作って下さい。提出する時(整理番号)は袋に入れたままお出し下さい。  
\*食堂関係(カレー、おでん、ケーキ)... 値段は昨年と同じ、ケーキはエプロン会の斎脇さんの御指導で、自由参加で作ります。
5. 福音宣教委員より... 清尾  
7月6日の環境問題についての勉強会には、10名の方に参加して頂きました。次回は8月7日(土)午前10時からの予定です、多数御参加下さい。
6. 7月4日神父様の霊名の祝日に、御祝として婦人会から図書券を差し上げました。
7. 8月は例会、おむつ縫い共にお休みします。
8. ◎おむつ縫い；9月4日(土)午後1時～  
◎次回例会；9月19日(第3日曜日)、お茶当番はB地区、宜しくお願い致します。
9. ミサ時の奉獻、朗読... 8月15日(第3日曜日)は典礼委員にお願い致します。

婦人会よりおむつ縫い変更のお知らせ  
9月3日(金) 午前10時～正午迄です。



お知らせ

受洗

7月18日 バジリオ 石井 拓 真  
たくま  
8月15日 マクシミリア、コルベ  
石井 大河  
たいが

10月の行事

- 3日委員会ミサ後
- 17日壮年会 "
- 婦人会 "
- サロン 10、24
- レジオ 15、22、29



第185回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年10月3日

委員会だより

<9月5日 10名出席>

1. 財務報告： 8月度報告（藤田委員）。
2. バザー委員会（7/30開催）の報告：
  - ・スローガン：建設、親睦、福祉
  - ・テントは2張り。
  - ・町内会の掲示板/回覧などでもPRする。
  - ・模擬店届出（清水委員長）。
  - ・駐車場は、本年度は準備せず。
  - ・婦人会で準備進行中。食券販売9/19に開始。
3. 信徒実態調査の件：
  - ・9/5現在、120余名分の調査シートを回収。
4. 卓球大会（8/22開催）の報告：
  - ・楽しく、無事終了。申告していない人の参加もあり、事務局が大変だった。
  - ・『シニア・リーグ』新設の提案あり。
5. 9/15敬老の日のお祝品贈呈の件：
  - ・本年度の贈呈対象者は33名。
  - ・お祝品は、日本信販またはJCBカード（3千円相当）に決定。
6. 9/27~9/30山崎神父様が出張：
  - ・留守番別途アレンジ。
7. 募金活動について：
  - ・鹿児島、奥尻の災害に対する義援金は、『愛の献金』から出すこととして、この旨、委員長よりミサ終了後、信徒に周知する。
8. 侍者の祭服の件（経過報告；小山委員）：
  - ・『ピエタ』の他にもいろいろあったが、最終的に『ピエタ』に決めたい旨提案あり、これを了承（山崎神父様も了承）。
  - ・これにより、早急に2着（大人用）を購入することとなった。
9. 宿題事項：
  - ・来年度委員の推薦。

以上

- 3) ハイキングの件
  - 計画について山田氏より紹介があった内容は概略次の通り
  - 期日： 11月14日（日）ミサ後
  - コース： 秦野駅~弘法山~鶴巻温泉駅（初心者向きのコース）
  - 歩行時間： 約2.5時間
- 4) 横浜教区一粒会の報告（小谷委員より）

婦人会だより

<9月19日 30名出席>

- 1 委員会報告・・・小野
- 2 <バザーについて>
  - ◎『バザー委員会』の討議内容及び、バザーで販売の手作り品の提出状況の報告（会長）
  - ◎衣料品等に関する今後の作業予定
    - ①10月17日（第3日曜日）  
在眠材料による依頼の手芸品と、自主手作り品の提出締切り。
    - ②10月23日（第4土曜日）  
手作り品の値段付けを午後1時から行います。
    - ③10月24日（第4日曜日）  
ミサ後、新品、古着の提供品の値段付け、この日までに御寄付をお願いします。
  - ◎ケーキ作り日程  
10月26日（火曜日）又は27日（水曜日）。地区センターは使用申込みが多いそう、両日のいずれか未定です。決定次第、掲示しますので御協力をお願いします。
  - ◎食券販売について  
9月19日~10月17日（第3日曜日）まで販売、尚、バザー当日も販売致します。
- 3 『いのちの電話』チャリティコンサートのお知らせ・・・11月6日（土曜日）、関内ホールにおいて（詳細は後日、掲示致します）
- 4 ◎おむつ縫い；10月6日（水曜日）午後1時~午後3時  
◎次回例会；10月17日（第3日曜日）おむつ縫いの担当係、次回例会時のお茶当番は共にC地区、宜しく願ひ致します。



お知らせ

- ・ミニバザー
- 10月31日（日）午前11時~
- ・今月はロザリオの月です。ミサの前8:45からロザリオの祈りが有ります。

壮年会だより

<9月19日 12名出席>

- 1) 委員会報告（鈴木副会長より）
  - 2) バザーの件
    - ◎壮年会の出し物及び価格
      - 焼き鳥 (¥300・・・5本)
      - 焼そば (¥300)
      - 焼いか (¥300)
      - 飲み物 (ビール・ジュース類)
      - 草花の苗
    - ◎食券（前売り）・・・9/26（日）から販売
    - ◎前日（10/30）の準備 午後1：00~都合のつく人には協力して貰う（連絡網で流す）  
当日会場となる庭の草刈りも併せて実施
    - ◎当日の役割・担当
      - 焼き鳥： 鈴木 上野
      - 焼そば： 石井 井上
      - 焼いか： 七浦 萩原
      - 飲み物： 位田 宮崎
      - 草花の苗： 滝川
      - 食券（当日売り）山田
- 上記担当以外にも当日協力可能な方には積極的に協力願う（含青年会）

フォスター・プランを知って

私がフォスター・プランを知ったのは、ごく最近である。以前から”あしながおじさん”のような活動があることは知っていたが、子育てで生活に余裕が持てなかったせい余り感心を持たなかったのかもしれない。

このフォスター・プランは既に50年からの歩みがあり、発展途上国の子供達へ援助の出来るものが援助をしていくと言う趣旨の活動で、始め英国のジャーナリスト、J・L・デイビスとE・マッゲリッジによって活動が始められたと言う。日本では1983年にこの活動が設立されたとある為、丁度10年前にスタートしたことになる。

今、フォスター・プランの資料を見ていると我々もあの太平洋戦争敗戦後の荒廃した社会での、貧しかった生活を思い出す。あの時、私は小学校4年生であった。外地から引揚げてきてお米のご飯が食べられなかった。学用品もなければ運動靴もなかった。

学校では給食の時、パンと粉ミルクが配給されていたことを思い出す。それも一度に食べずに半分家に持って帰って食べたこともあった。

あれは確かアメリカからの援助物資だったと思う。あの時の飢えをこのような温かい善意の援助によって私達はここまで大きくなり、今の自分があるのだと言うことを思い出したとき、私達は何をしななければならないかと言う答えをこのフォスター・プランが教えてくれたような気がして有難く感じた。

戦後50年日本も経済大国になり皆の生活も豊かになった。しかし他の国には貧しい人達が大勢いる。してあげられる者が困っている人を助けてあげることが当然のことであり、特に困っている子供達へ援助の手を差し伸べることは、その子供達を元気づけることであり、やがてその子供達が大人になった時又同じように愛の種を蒔いてくれるものと思う。

神様は、私達にいつも問いかけられている。 ”あなたはどのような悪いことをしたのではありません、どれだけいいことをしたのか” と言うことを。

このような問いに対して、もし私に出来ることがあるならば、何かしてあげたい。子供達も成長し、そういう心の余裕とでも言うのか自分以外に目が向けれる年になってきた現在、遅ればせながらこのフォスター・プランに賛同を与えたところである。

ジュリア祭巡礼 ミサの説教 ④

山崎正俊

(四)

◎ それで、カトリック教会のカシラ・教皇が、ロシア正教会からではあっても、破門されたトルストイ、異端として追われたドゥホボール教徒、それから、クエーカー教徒たちの考え方に近付かれたのかと思ひ込みそうになったほどです。

私がそう思うから、これは本当だということにはなりません、この世の厳しい現実のなかであっても、助け合い支え合い励まし合って生きている人々がいたということ、いまもその習慣に徹している人がいるということ、すくなくとも、この島には、民族や宗教、信仰や身分の違いを越えた温もりがあふれているのです。だから、毎年おこなわれるようになったこの巡礼を、ただの年中行事に終らせてはならないのです。

教皇様のこの手紙は、現代の指導者の多くによる世界的な破壊行為が、ますますひどくなってゆくことを嘆き、そのことは、ついに全生物の死滅につながることを警告しておられるように見えるのですが、それでも、イエズス様の愛の精神に徹するようにと願っておられるのかと思います。

イエズス様は、親切にしてくれる人に親切を返し、挨拶をしてくれる人に挨拶を返す。これは、おまえたちが罪深い者として差別する人でもそうしている。おまえたちの愛は、それを越えていなければならないと教えておられます。イエズス様は御自分を裏切る者や殺そうとしている者たちの救いのためにも、御自分の生命をおささげくださいました。そして、まことの生命の与え主に従う道、この世に生命を与えられた者たちの生きる模範も教え示してくださいました。力のある者はその力をつかって、他の者に奉仕する者でなければならぬことも、遺言してくださいました。

◎ この神津島では、高い地位にあったとは云っても、見知らぬ他国の女性流刑人、切支丹おたあジュリア様をこれほどにも大切にお守りしてくださいました。キリスト教会で教えられているはずの教えが、世界のうちでも例がないほどの優れた形でおこなわれていたからこそ、この島を訪うだけの私たちのうえにも、「殉教者の冠」の余香が降りそそがれることになったのです。

まことに有難うございました。これが、今日、ここで話したかったことのすべてです。父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

11月の行事(死者の月)

- 7日委員会ミサ後
- 21日壮年会 "
- 婦人会 "
- サロン 28、
- レジオ 12、19、26
- クリア集会 20



第186回

カトリック中和田教会  
 広報委員会発行  
 泉区 中田町 2701  
 TEL 045-803-6141  
 1993年11月7日

なかわだ 会報



おたあジュリア嘆異 神津島往還

山崎 正俊

事によって急変する支配者の方針、  
 多くの者は恐れひれ伏す —  
 我が身の無事をねがうのあまり  
 耳ふさぎ 顔そむけ。  
 後に残る人たちのこととおもいやる  
 胸つぶれる思いの果て、  
 殉難者は何も云わないままに  
 何処へ行かされようとするのか。

遠い孤島に追いやられた不安は  
 夜のイロリ辺のつどいになだめられ  
 そのとき時の思いにそえて  
 ひとつの歴史が語り継がれる。

生得の人のよさとそのならい  
 誠意を受けとめるぬくもり  
 自然の懐におる者の遅しさ —  
 これまでのすぢみちなど問わず、  
 そのまま バライソへのあこがれに  
 喜び生きる祖先のうしろ姿を見つめ  
 主のみせつりと約束をたよりに  
 心をこめた日ごとのいとなみ

「その魂を亡ぼすものを畏れ  
 生命あるもののために堪え」  
 明日への希望に燃えて ともども  
 ささえあい励ましあえる仕合わせよ

これでいいのか

政治家と企業家

不景気が続いて、鉄も電気も、自動車もコンピュータも駄目だという。バブル時代に売れた貴金属や絵画が売れないので、デパートも落込んでいる。あんなに盛んだった旅行やグルメの灯も消えて、交通やレジャーも駄目。企業の節約令でバー、クラブ、ゴルフ場、印刷、広告も勿論良くない。消費が冷え込んで、誰も、お金を使わなくなり、それがまた、景気たて直しの足を引張っている。

そこで、政府も一応景気たて直しのために、補正予算を組んで、公共事業等にお金をつぎこんで、生産活動を活性化しようとしているが、この金が、属議員といわれる人へ、自分の企業が有利な条件で仕事が取れるように、闇献金の形で流れていく。政府与党であった自民党が、こういった癒着の構造を断ち切ろうとして、政治改革を叫んで行動したが、結局何もできず、分裂する騒ぎになってしまった。それに加えて政界のドンであった金丸自民党副総裁ともあろう人が、何十億円という闇献金を受取り、しかもそれを内諾に隠して、脱税容疑で検察に引張られるなどという、前代未聞の不祥事を引き起こす。企業家からすれば、不況の波にさらされ、苦しいから他社より有利に仕事を取ろうとして、有力な議員に働きかけるようになり、これに金がからんでくる。典型的なものが、仙台市長や茨城県知事のような収賄事件となって表れてくる。人は、権力を持つとどうしても慾に目がくらみ、バレなければ良いだろうの誘惑にまけてしまう。

このようなことは、今始まったことではないらしい、昔から多かれ少なかれあったようだが、時の権力者が力の論理で世間に分らないようにしていたようだ。ところが、ロッキード事件やリクルート事件と汚職事件が相次ぎ、権力者の権威が失墜し、抑えがきかなくなってきたのが原因であろう、それにしても、“人の噂も75日” “喉元過ぎれば熱さ忘れる” という諺のとおり、いずれ忘れ去られ、またいつのまにか元に戻ってしまう、そんな人間のさががコワイ。

M. H

委員会だより <10月3日 10名出席>

1. 財務報告：9月度報告(決算資料配布)。
2. 調理場 ガスレンジ交換の件：委員会了承(山崎神父様も了承済み)。
3. バザー委員会：10月10日ごミサ後開催。
4. 神父様の研修会出張(9/27～9/30)：留守番当番にご協力頂いた方々に感謝。
5. 敬老の日のプレゼント：37名の対象者に、お渡した。  
 今回のプレゼントでいろいろご意見が有り、次回の為の参考としていく。
6. 信徒実態調査の件：10/3現在、391世帯(104名)分の調査シートが未着信。  
 更に、手紙作戦で協力を仰ぐ。
7. 教会学校リーダー研修会：11月3日に開催。中和田教会からもなるべく多く(3名以上)参加する様、準備中(井上委員)。
8. 来年度委員の推薦：各委員が推薦者の案を作成し、10月17日迄に委員長に提出する。  
 以上

壮年会だより

(10月17日 12名出席)

1. 委員会報告(宮崎会長)
2. バザー委員会報告(甲斐さん)
  - ・今回は個性的なものが多い(婦人会)
  - ・役割分担ができ準備は着々(壮年会)
  - ・食べ物は200名分(婦人会)
  - ・ポスターは小谷さんが用意してくださる。
  - ・駐車場は当日無く、マイカーでは来れない。
  - ・前日30日(土)の夕ミサは午後4時よりやってくる。

- ・バザー開催届けを保健所に出した。
- ・等々

3、フリーデスカション

岩淵さんのヨーロッパ旅行(イギリス・ポルトガル)、清水委員長の富士山ドライブなどを中心に、たいへん楽しい雰囲気のひとつとなりました。

婦人会だより

(10月17日 34名出席)

- 1 委員会報告・・・楠田
- 2 <バザーについて>・・・会長より  
 ◎当日の役割分担表を回し、あとで掲示しておきますので、御記名下さい。  
 ◎心のこもった自主製作品をたくさん提出して下さい、有り難うございました。  
 ◎ケーキ作り日程  
 日時：10月26日(火曜日)午後1時～。  
 場所：直接、地区センター2階料理室へお集まり下さい。  
 借用上のグループ名は“秋桜”となっております。  
 持ち物：三角布、マスク、エプロンを御用意下さい。  
 ◎カレー、おでんの調理  
 10月30日(土曜日)午前10～。  
 ◎バザー当日の会場配置図は、昨年と同様、大きく書いて掲示します。
- 3 11月(死者の月)婦人会物故会員の慰霊のためのミサ・・・11月5日(初金曜日)午前10時～正午  
 あづかれる方はお出下さい。
- 4 ◎おむつ縫い；11月22日(月曜日)午前10時～正午  
 ◎次回例会；11月21日(第3日曜日)  
 お茶当番はD地区、宜しく願い致します。



お知らせ

七五三  
 11月14日(日) 該当される方、神父様迄。



12月の行事

- 5日 委員会 ミサ後
- 19日 壮年会 "
- 婦人会 "
- レジオ 10、17

第187回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
TEL 045-803-6141  
1993年12月4日



追悼の文

山崎 正俊

◎ その人は、戦後の「さんや」に生きつづけています。その何処かへ抜けるようなカスレ声。胸を病んだ者の肺活量の小さい、何と云えばよいか、ひ弱そうな律儀な小男。実はこれが見せ掛けだけで、たいへんな向う見ず。其処で結婚し、一女を与えられ、そのまま、一家をあげて根付いてしまうのですが、「粒（りゅう）ちゃんの家はいいな」と、その子がうらやましがられると、仲間たちより広い家にいるということが恥ずかしくなり、それが、仲間たちとの集まるための場所なのでも、肩身の狭い思いにさいなまれるのです。

◎ お隣の中共で、クーリーたちに毛沢東がしてくれたことに、理由はともかくとして、私も共鳴していました。何百年かさきに果たされていなければならなかったのに、カトリック教会の歴史には、ほとんど宣べられていないことを、この人の仲間は、数年を経ないうちに、かなりの成功をおさめているからです。

それを体験学修をして、さんや解放に役立てようと、無理して出掛けてみたら、何であったのか、集めていたお金を着服流用したとか宣伝されたりして、しばらくは困るようなことになられたようで、何も知らない私のところにも弁明の、印刷された手紙のようなものが、送られて来るということもありました。清川町のあたりでは目立ちはじめられたようだと、その本名かなんぞといっしょに、新聞に報じられていましたから、感動しただけで忘れてしまいました。

◎ それまでもなく、日本の共産党からは、除名されていると聞いていましたが、それぐらいのことで、そう簡単にその考え方がかわるはずがないのですから、あの「歎異抄」への心酔振りなどは、その心の内側で、どのような統一が計られていたのだろうとは思いますが、近くのお坊さんと協力しておられるせいかもしれないとしても、そればかりでもないでしょう。唯物論の闘将として名のある学者たちでも、ほとんど例外がないほど、キリスト教の神様から離れ切れないうところがあるそうですから。私なんかは、カトリック教会の司祭でありながらも、それを止めようとか、止めさせられかけているとかというようなことは、その気配さえありません。

(つづく)

思い出の記より

厨房に入ってはみたけれど

清水 聖

昭和五十六年夏。福島第二原子力発電所の工事が終わり横浜にてノンビリの生活に浸る心算でいた処、柏崎菟羽原子力発電所へ出張を命ぜられる。なにしろ単身赴任でつらいのは食生活。福島では老夫婦斎藤さん宅に下宿し、我が家同然の待遇にてお世話になったのだが、柏崎は『原発反対』の厳しい土地柄、下宿は無いという情報。兎に角落ち着き先を探さねばならぬ。横浜を午後十時半に出発。まだ関越道は開通していない折、走った走った、十七号をひた走り。真夜中の三国峠越。翌朝五時、柏崎菟羽原発着。車大好き人間にも、いささかきつかった。駅前不動産屋の紹介で静かな住宅街の一角に借家を定める。

住はよし次は「めし」、「男子厨房に入るべからず」の時代に育ち、わずかに少年の頃キャンプにて飯盒炊飯の経験を持つのみ小生。心細い。柏崎の街で炊事道具、米、味噌、醤油等買入れる。そして忘れてならないインスタント食品、帰宅早々袋の説明書を頼りにラーメンを作る。しかし旨くない。智恵を絞る。料理を上手に作る事ではなく、誰か食事を作ってくれる人を探るか、外食に馴染むか……。しかし、その悩みも一日で解決。御近所に引越しの挨拶に廻ったところ、「お一人では大変でしょう」と賄いをしてくれる人を探してくれる事になった。神様のお恵み。本当に感謝した。朝食は自分で用意、昼は原発で弁当、日曜は外食とし、平日の夕食のみ作ってもらう事に決めた。それでも一人の奥さんでは御自分の家庭もあるので二日づつ三人の奥さんをお願いする事になった。栄養のバランスを考え、同じ献立が続かぬようとノートを用意して連絡を取り合いそれぞれ腕を振るって料理を並べてくれた。「食べたい物があればノートに希望をお書き下さい」とのコメントがうれしかった。

こんな単身赴任を経験した人は、一寸いないのではなにかと感謝している。打ち合わせに帰浜の折、お土産に崎陽軒のシウマイを求め三人の奥さんにプレゼントをした事を懐かしく思う。

委員会だより  
<11月7日(日) 11名出席>

1. 財務報告：10月度決算報告(資料配布)。
2. 侍者服：購入した(大人用)侍者服2着(¥52,118)の披露あり。
3. 共同告解：日取りをウルフ神父様と折衝中。ウルフ神父様は1943年12月28日に叙階され、今年は『金祝』にあたる。中和田教会としてもお祝いをする予定。霊的花束と寸志、萩原さんが準備を担当。
4. クリスマス・パーティ：教会予算でやるが、一部に意見のある・持ち寄り形式にするか、・豚汁をやるか、については、壮・婦例会で検討していただく。
5. 在籍実態調査：未回答の方々に対して、再度依頼状を郵送して調査を進めているが、もう少し様子を見る。新名簿発行は献堂記念日の来年2月24日を目標とする。
6. 消防訓練：今年は省略する。教会に設置されている消火器は全て期限切れであり、年が明けてから詰め換えを行う。
7. バザー収支の中間概況報告(甲斐さん)：概算報告あり。詳細最終報告を壮年会・婦人会の例会で報告する。
8. 年末大掃除：去年は12月の第3土曜日に行ったが今年も第3土曜日に行くかどうか壮年会・婦人会で諮って決める。
9. 94年度新委員：推薦案が出揃ったが、委員長、壮年会長、婦人会長、神父様で推薦者を最終決定する。
10. 七五三のお祝い：今年の該当者は5名。11/14にお祝いを行う。
11. 94年度予算：たたき台を財務担当委員が作成して、12月委員会で審議する。

以上

壮年会だより

(11月21日 15名出席)

1、委員会報告(宮崎会長より)

2、バザーの反省

◎工夫できたこと

- ・婦人会の自主製作は、役員負担も軽くなり、意欲的に取り組み、効率的であった。
- ・焼きイカを切って販売したのは好評。
- ・高座豚肉や花の苗は中和田教会の特徴となってきた。

◎工夫すべきこと

- ・焼き鳥は絶対に交替要員が必要。
- ・食べ物等の下準備が個人の大変な負担となっているが、周りに支える組織が必要。そうすれば、楽しくできるし、後継者も育つ。
- ・地域の人に開かれたバザーとするために、看板、ポスター、宣伝ビラ、地図、業者の導入、決まった時期に実施等の工夫を。
- ・バザー委員会は半年前にスタートし、情報を信者全員に流すようにして行く。
- ・ゴミ箱、テーブルを多めに、テントは新調を。
- ・目的を明確にする。

◎バザーを続けていくべきか?

- ・負担はあるが、信者や地域の人との親睦になるし、財政難の中で教会の建て替えや修繕等の資金となるので、きちんと継続して行きたい。
- 3、ハイキングの反省(山田さんより)
  - ・よい試みであるが、足に強弱があり、安全管理が難しいので、知恵を出し合って行きたい。
- 4、壮年会の総会の開催を(小谷さんより御提案)
  - ・この件については今後検討する。

婦人会だより

(11月21日 26名出席)

- 1 委員会報告・・・小野
  - 2 <クリスマスについて>
    - ◎夜のミサ後のパーティに、教会からおすし等を用意致しますが例年より少々不足する見込みです。できる方は御無理のない範囲内での持ち寄りのご協力をお願い致します。
    - ◎大掃除：12月18日(第3土曜日)午前10時から
  - 3 次期婦人会役員を各地区2名選出して頂き、12月12日(第2日曜日)に新旧役員は2階和室へ集合し、役割分担と引継ぎを行う予定です。宜しくお願い致します。
  - 4 <バザーの反省>
    - バザーの前日当日共に、大勢の方々にお手伝い頂き大変有難うございました・・・会長
    - ◎手作り品・・・各自が家で製作し、多種多様な品物が出てよかった(会員意見)
    - ◎新品雑貨・・・欠損のある物はその旨を明記して欲しい、例えばお皿の枚数など(役員意見)
    - ◎古着・・・あちこちの箱から集めての合計だったので、会計が不正確であった(役員意見)
    - ◎外部のお客様に対する要望・・・開始時間11時を守って欲しい(役員意見)
  - 5 ◎おむつ縫い；12月11日(第2土曜日)午前10時～正午
    - ◎次回例会；12月19日(第3日曜日)お茶当番はA地区、宜しくお願い致します。
- 《特報》12月19日に武田さんのお肉を販売!

お知らせ

◎ご結婚

- ・11月13日(土) 山手教会  
鈴木 健一 ユリアナ 鈴木 ゆり  
住所 千448 刈谷市末広町1-8-3-105
- ・11月21日(日) 中和田教会  
佐藤 睦 カタリナ 望月 恵子  
住所 栄区元大橋1-41-16  
電話 893-8228

◎年末年始のミサ

- 12月12日(日) ゆるしの秘跡 森田神父
- 12月24日(金) クリスマスのミサ 20:00
- 25日(土) クリスマス 10:00 19:00
- 1月1日(土) ミサ 10:00 19:00  
ミサ後、年賀祝杯があります
- 2日(日) 7:00 9:00
- 7日(金) 初金 10:00